

事業名	試験研究における広域連携					連携市町
事業内容	北九州市内の農家や農協などから依頼を受けて実施している品種比較試験や展示ほ場の設置を広域で実施する。					全市町
効果	・農産物の生産振興					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	—	—				
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・原則として北九州市が負担する。 ・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	試験受入件数	0件（平成28年12月1日）		延べ5件（平成32年度）		
【連携協約】						
d 戦略的な観光施策						

事業名	【地方創生推進交付金事業】 連携中枢都市圏「北九州都市圏域」による『きりん』の輝き推進事業					連携市町
事業内容	北九州空港を利用した「きりん」エリアの魅力発信や、世界遺産をはじめとした産業遺産のPR等を行い、圏域全体の観光振興の推進を図る。					全市町
効果	・圏域の年間観光客数の増加 ・圏域の年間宿泊者数の増加					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	80,500	169,900	139,100			
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業を推進する。				
費用負担（基本方針）	・地方創生推進交付金における費用分担に基づき負担する。 ・地方創生推進交付金の対象外費用（報償費、旅費等）は各市町が役割に応じて負担する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	圏域の年間観光客数	3,640万人（平成27年度）		3,665万人（平成32年度）		
	圏域の年間宿泊者数	177.4万人（平成27年度）		179.0万人（平成32年度）		

事業名	広域観光連携事業					連携市町
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・連携市町の観光素材の情報を盛り込んだ観光WEBサイトの開設や、PRパンフレット（グルメガイド、ドライブマップ、観光ルート図など）の作成を行い、他都市で実施する観光キャンペーン等を通じた圏域内外への情報発信を実施する。 ・圏域ならではの観光素材（特に世界遺産関連）の発掘・磨き上げや、観光情報の共有化、観光ルートの整備について検討する。 ・情報発信や旅行エージェント等へのプロモーションについては、北九州市の首都圏本部（東京事務所）や、各市町の観光協会を活用するなど、様々なチャンネルを用いて実施する。 					北九州市、行橋市、豊前市、中間市、芦屋町、岡垣町、荻田町、みやこ町、築上町、上毛町 ※上記以外で連携を希望する市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の周遊性の向上や滞在時間が延長されることによる地域への経済効果 ・観光素材を組み合わせによる圏域の新たな魅力の創造・発信 					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	300	300	300	-----	-----	北九州地区観光協議会の事業費
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	北九州市の観光客数	22,420,000人 （平成23年）			24,600,000人 （平成32年）	

事業名	東九州自動車道沿線自治体との連携強化による観光戦略					連携市町
事業内容	<p>東九州自動車道の開通を見据え、北九州市～宮崎市間の沿線自治体と連携体制を構築し、沿線地域の賑わい創出、産業振興などを旨とする。また、その中で、連携市町が協力して圏域の魅力発信を行い、圏域への誘客を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的な広報戦略 ・沿線市町村との合同イベントの開催 など 					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の増加 ・圏域への新たな観光客誘致 					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	409	—	-----	-----	-----	-----
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として北九州市が負担する。 ・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。 					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	集客イベントの毎年度開催	1回（平成27年度）			1回（平成32年度） ※毎年1回開催	

事業名	クルーズ船入港時におけるPR活動					連携市町
事業内容	<p>博多・西海岸にクルーズ船が寄港した際、おもてなしイベントを開催する。</p> <p>あわせて、連携市町の観光情報の提供等によるPR活動をクルーズ船の乗客に対して実施することで、圏域全体の観光振興の推進を図る。</p> <p>北九州港にクルーズ船が寄港した際、観光パンフレットの配布や特産品販売ブースの設置等により、乗客及び一般見学者に対し圏域のPRを行う。</p>					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域市町のPR ・農産品の販売などによる売り上げ拡大 ・伝統文化の披露による、連携市町の文化や歴史についての認知 					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	14,543	5,900	8,162	-----	----->	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市の役割分担に係る費用は、北九州市が負担する。 ・連携市町に係る費用は、当該市町が負担する。 					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	連携市町出展回数	83%（6日程中5日） （平成28年11月）			100%（平成32年度）	

事業名	大規模イベント等の開催・支援					連携市町
事業内容	<p>広域的な視点を盛り込んだ各種イベントの開催・支援に取り組み、圏域内外からの誘客増を図る。</p>					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの集客増加 ・連携市町の農林水産物などのPR 					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	15,000	—	42,970	-----	----->	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市の役割分担に係る費用は、北九州市が負担する。 ・連携市町に係る費用は、当該市町が負担する。 					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	連携したイベント件数	2件（平成28年度）			5件（平成32年度）	

【連携協約】

e その他経済成長のけん引に係る取組

事業名	北九州市U・Iターン応援プロジェクト					連携市町
事業内容	<p>北九州市へのU・Iターン就職希望者に対して、インターネットやU・Iターン応援オフィスでの相談対応、職業紹介を実施する。</p> <p>また、民間転職フェアへの出展に合わせた市内企業の合同説明会やオンラインによる会社説明会を開催する。東京等で開催されるイベントへの出展による事業案内を行う。</p> <p>※これまでの対象は「北九州市内へのU・Iターン就職希望者」に限っていたものを連携市町に戻り、北九州市内で働く方へ対象を広げるもの。</p>					北九州市、直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、みやこ町、上毛町、築上町
効果	・圏域内の人口の確保、即戦力人材の活用、未経験者の採用支援					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	—	24,550	31,025	-----	----->	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・北九州市が全額負担する					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	北九州市へのU・Iターン就職者数	H28年度実績 163名 H27年度実績 142名			H27～H31年度（5年間）で1,000人	

事業名	留学生による地域の魅力発見、愛着醸成事業					連携市町
事業内容	<p>海外からの留学生を対象に、地域の観光資源、産業資源、人材資源等と触れるモニターツアーを実施し、体感する地域の魅力を動画で配信する。また、参加者を「地域魅力発信協力員（仮）」に認定し、北九州地域のファンになってもらう。交流事業を実施し、体感した地域の魅力を、北九州地域のファンとして、SNS等を通じて発信する。</p>					全市町
効果	<p>・留学生に企画段階から参加してもらうことで、外国人が訪問したくなるモデルコースの企画提案や留学生案内ボランティア育成などに繋げる。</p> <p>・地域の魅力を国内外に広くPRでき、地域との交流から愛着に繋げることで、「住みたい」「働きたい」という意欲の醸成を図る。</p>					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	—	1,000	1,000	-----	----->	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する				
	連携市町	・本事業の推進に協力する				
費用負担（基本方針）	・原則として北九州市が負担する					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	モニターツアーの実施	0回（平成28年度）			2回／年度（平成32年度） ※ 2シーズンに1回を想定	

事業名	【地方創生推進交付金事業】 北九州市版「生涯活躍のまち」推進事業					連携市町
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">P55「定住・移住促進事業」に統合</div> 国の定めた「生涯活躍のまち」構想に基づき、北九州市版「生涯活躍のまち」の形成を進める。					＝
効果	・多世代の雇用創出					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	備考
	17,000	25,000		-----	----->	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。 ・本事業を推進するにあたっては、圏域全体の魅力発信を行う。				
	連携市町	＝				
費用負担（基本方針）	・原則として北九州市が負担する。					
重要業績 評価指数 （KPI）	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	50歳以上の「北九州市すまいるクラブ」（北九州市への移住希望者の会員制度）登録件数	31件（平成28年12月）		220件（平成32年度）		

2 高次の都市機能の集積及び強化に係る取組

【連携協約】

a 高度な医療サービスの提供

事業名		高度急性期医療等の提供					
事業内容		重篤な救急患者を受け入れる救命救急センターやハイリスクの妊娠・出産に対応する周産期母子医療センター、がんや脳卒中、心筋梗塞への対応など北九州市の高度な医療資源を活用し、圏域全体の住民への高度急性期医療等の提供を図る。					
効果		・圏域住民の医療需要への対応					
事業費（千円）		H28	H29	H30	H31	H32	備考
		—	—	→	→	→	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。					
	連携市町	—					
費用負担（基本方針）		—					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）			
	救急医療体制、周産期医療体制等の維持・確保（参加機関数）	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター2件（平成29年） 周産期母子医療センター4件（平成29年） がん診療連携拠点病院4件（平成29年） 		現状維持 <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター2件（平成32年度） 周産期母子医療センター4件（平成32年度） がん診療連携拠点病院4件（平成32年度） 			

【連携協約】

b 圏域の中心拠点の整備及び圏域内外を結ぶ交通環境の強化

事業名		小倉駅周辺賑わい創造事業の推進					
事業内容		小倉駅新幹線口エリアに年間300万人の集客を目指し策定した「都心集客アクションプラン」に基づき、新幹線口エリアの集客対策を強化し、そこに集まった人たちが商店街などに回遊してもらう仕組みを作り、小倉駅周辺の魅力向上を図る。					
効果		<ul style="list-style-type: none"> 都心部の賑わいを創出 集客交流産業の活性化 					
事業費（千円）		H28	H29	H30	H31	H32	備考
		11,394,830	667,000	1,140,000	→	→	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。					
	連携市町	—					
費用負担（基本方針）		・北九州市が負担する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）			
	新幹線口エリアの集客数	270万人（H25年度）		300万人（H31年度）			

事業名		小倉駅新幹線口魅力創出事業（砂津緑地の整備）					
事業内容		小倉駅新幹線口地区における、多くの人々が憩えるウォーターフロントを整備し、近隣市町村との交流、観光PRの場を提供する。					
効果		<ul style="list-style-type: none"> 賑わいの創出 近隣市町村のPR 					
事業費（千円）		H28	H29	H30	H31	H32	備考
		73,000	—	→	-----	-----	→
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。					
	連携市町	—					
費用負担（基本方針）		・北九州市が負担する。					
重要業績 評価指数 (KPI)	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）		
	訪問者数	9,000人（平成28年度：想定） 0人（整備中）			20,000人（平成31年度）		

事業名		折尾地区総合整備事業					
事業内容		<p>折尾地区は、遠賀郡・中間市を含む北九州西部の地域中心核であり、また、駅周辺には大学や高校が立地されているとともに、北九州学術研究都市へのアクセス拠点であるなど、学園都市となっている。</p> <p>学園都市の玄関口のみならず圏域西部の中心核として新たな広域拠点形成のため、連続立体交差事業、街路事業、土地区画整理事業を一体的に実施する。</p>					
効果		・アクセシビリティの向上や街なか居住の誘導					
事業費（千円）		H28	H29	H30	H31	H32	備考
		9,522,200	5,730,500	6,794,500	-----	-----	→
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。					
	連携市町	—					
費用負担（基本方針）		・北九州市が負担する。					
重要業績 評価指数 (KPI)	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）		
	【連立事業】 踏切除去による 交通遮断量削減割合	(平成28年度当初) 削減率0% (181,393人台・時間/日)			(平成32年度末) 削減率68% (57,646人台・時間/日)		
	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）		
	【街路事業】 街路整備による 移動利便性向上	折尾駅～周辺交差点間の平均旅行速度 (平成28年度当初) 19.0分/5.2km (16.4km/h)			折尾駅～周辺交差点間の平均旅行速度 (平成30年度末) 17.2分/5.2km (18.1km/h)		
重要業績 評価指数 (KPI)	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）		
	【土地区画整理事業】 特定消防区域の 面積率	(平成28年度当初) 100%			(平成32年度末) 38%		